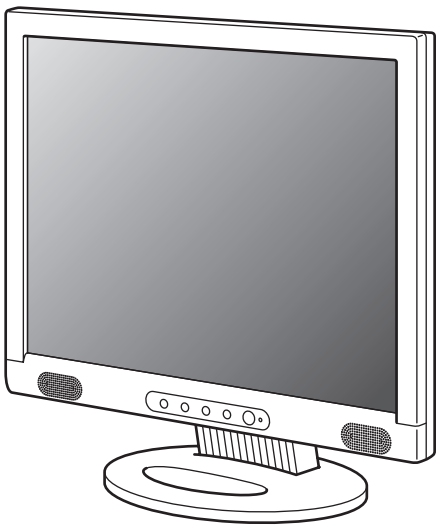
SHARP®

取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-174A



もくじ

		ページ
はじめに	**安全にお使いいただくために**	**3**
	付属品の確認	**5**
	台座の取り付け・角度調整	**6**
	各部の名前とはたらき	**7**
準　備	**接続・電源入／切**	**8**
	コンピュータの接続	8
	電源の接続	8
	電源の入れかた	9
	電源の切りかた	9
	ヘッドホン（市販）の接続	9
画面調整	**画面・スピーカー音量の調整**	**10**
	バックライトの明るさ調整	10
	スピーカーの音量調整	10
	画面の自動調整	11
	画面の手動調整	12
	製品情報の確認	15
補　足	**お手入れ・保管・アフターサービスについて**	**16**
	お手入れのしかた	16
	保管にあたって	16
	リサイクルについて	16
	故障かな？と思ったら	17
	アフターサービスについて	17
	お客様ご相談窓口のご案内	**19**
	仕様	**20**
	VESA 規格準拠アームの取り付けかた	**22**

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内（AC100V）用です。海外では使えません。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※ 本書では、以下を総称して「Windows」と表記しています。
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows Millennium Edition
- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows 95

※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
※ 本書で記載されている画面表示のイラストは、実際の画面表示とは多少異なることがあります。

お願い
※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です。）

⚠ 記号は、**気をつける**必要があることを表しています。

記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因になります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警 告

アースを接続してください。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠注 意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間や旅行などで長時間使用しないときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。
通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠注 意

液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因になることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

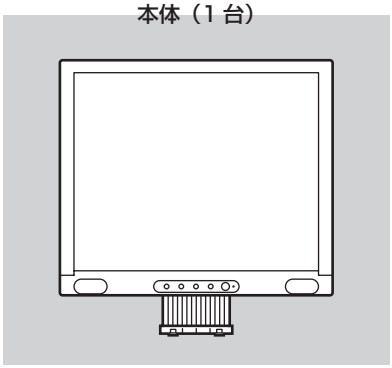
ディスプレイ部とスタンド部の間（特に取り付け部分付近）で指をはさまないようにご注意ください。

通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因になることがあります。
（内部の清掃費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。）

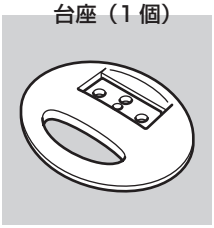
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

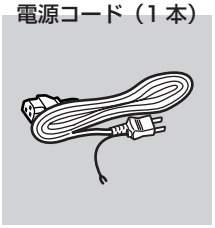
本体（1 台）



台座（1 個）



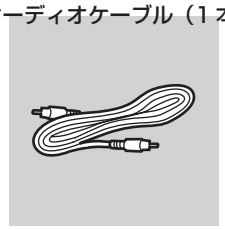
電源コード（1 本）



アナログ信号ケーブル（1 本）

（ミニD-sub15ピン−ミニD-sub15ピン）

オーディオケーブル（1 本）



- 取扱説明書（1 部）
- 集配修理サービス「修理宅配便」（有料）のご案内（1 部）
- 保証書（1 部）

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

台座の取り付け・角度調整

⚠ 注意 **指などをはさまないようにご注意ください。**

■台座の取り付け

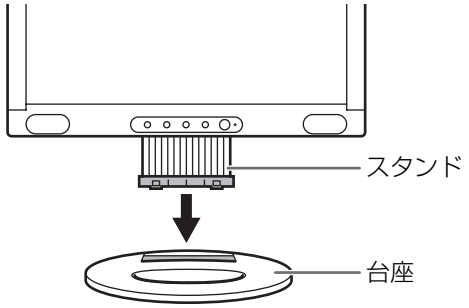
! ご注意

※ 台座を取り付けるときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに力が加わると、破損の原因になります。

※ 台座がしっかりと取り付けられたことを確認してからご使用ください。はめ込みが不十分だと、本体が転倒したり、台座が落下したりするおそれがあります。

1. 台座を水平な机の上などに置き、ゆっくりとスタンドをはめ込む。

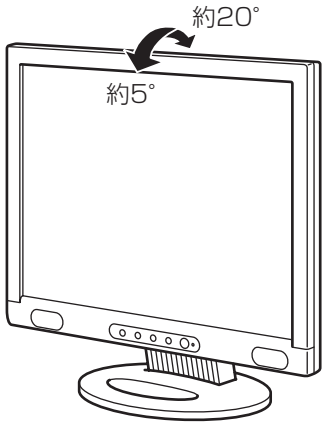
カチッと音がするまではめ込んでください。



■角度調整

! ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。



■台座の取り外し

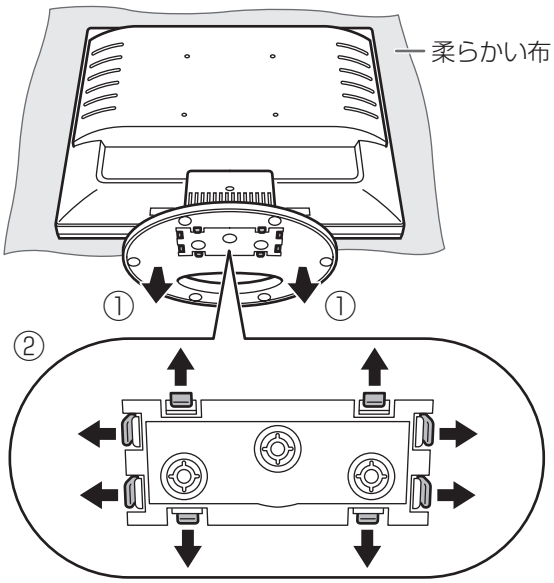
! ご注意

※ 台座を取り外すときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに力が加わると、破損の原因になります。

1. 柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。

2. 底にある 8 箇所のロックを外し、台座を取り外す。

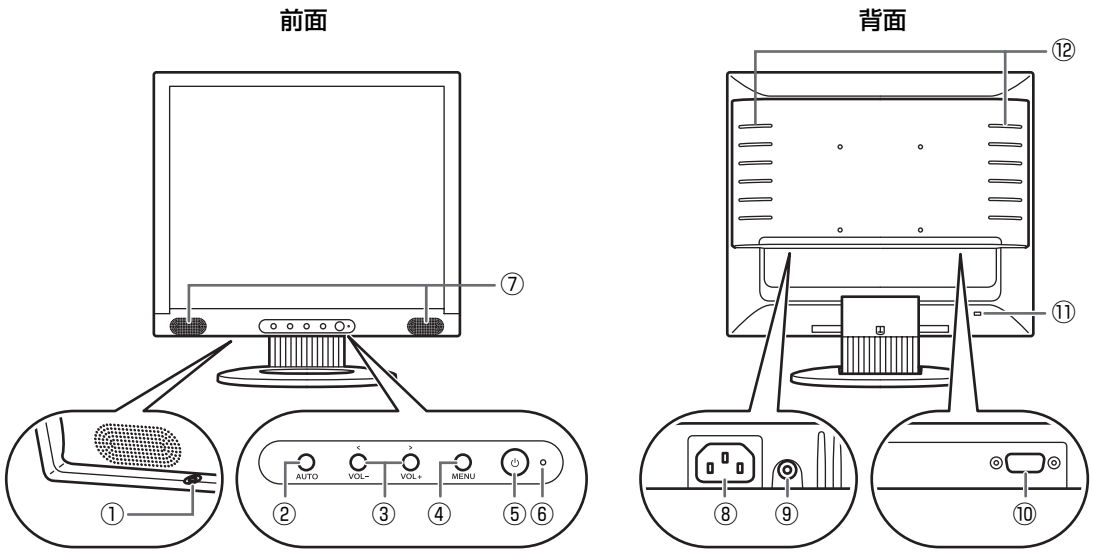
台座を手前に引きながら（①）、レバーを矢印の方向に押して（②）1 箇所ずつロックを外します。



? Memo

※ 通常使用時に、スタンドと台座が容易に外れないよう固くロックされています。1 箇所ずつ確実にロックを外してください。

各部の名前とはたらき



① ヘッドホン端子.....市販のヘッドホンを接続することができます。(9 ページ)
② [AUTO] ボタン .....調整メニューが表示されていないときは、画面の自動調整を行います。(11 ページ)
調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。(12 ページ)
③ [<] [>] ボタン (VOL-/VOL+).....調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。(10 ページ)
④ [MENU] ボタン.....調整メニューの表示、切り換え、消去を行います。(11 ～ 15 ページ)
⑤ 電源ボタン (⏻) .....電源の入／切を行います。(9 ページ)
⑥ 電源ランプ .....通常表示時は緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑦ スピーカー .....本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。
⑧ 電源端子 .....付属の電源コードを接続します。(8 ページ)
⑨ 音声入力端子 .....付属のオーディオケーブルを使って、コンピュータの音声出力端子と接続します。(8 ページ)
⑩ アナログ RGB 入力端子 (VGA)....付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続します。(8 ページ)
⑪ 盗難防止ホール (K).....市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑫ 通風孔.....背面の穴は、機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

接続・電源入／切

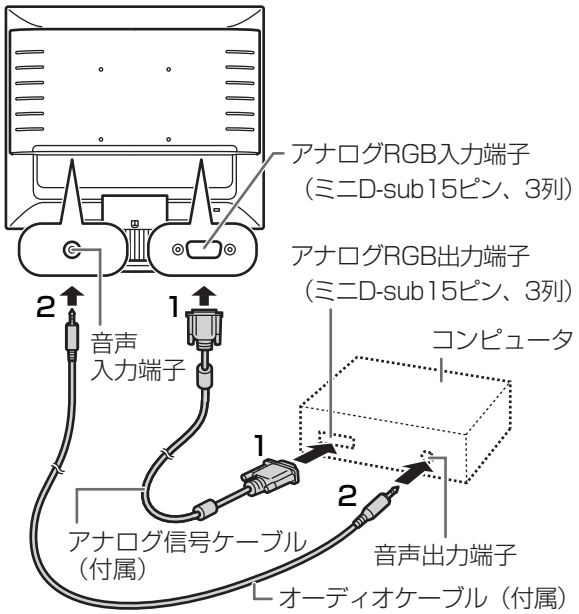
！ ご注意

※ 接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。

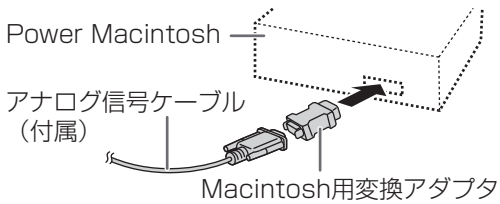
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの原因になります。

コンピュータの接続

1. **アナログ信号ケーブル（付属）を使って、コンピュータのアナログ RGB 出力端子と接続する。**
   端子の向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。
2. **オーディオケーブル（付属）を使って、コンピュータの音声出力端子と接続する。**



Power Macintosh のアナログ RGB 出力端子が D-sub15 ピン 2 列の場合、Macintosh 用変換アダプター（市販）を取り付けます。



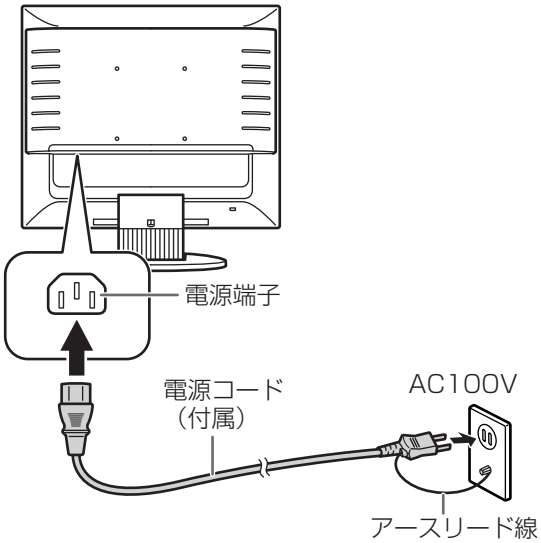
？ Memo

※ Sun Ultra シリーズに接続する場合、変換アダプター（市販）が必要になることがあります。

電源の接続

⚠ 注意 **電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

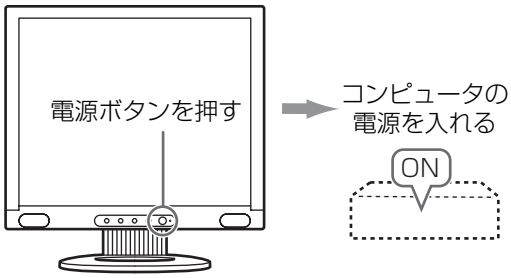


⚠ 警告 **アースを接続してください。**アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
  また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
  順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れかた

1. 本機の電源ボタン（ ⏻ ）を押す。
2. コンピュータの電源を入れる。
本機の電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。



※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

！ ご注意

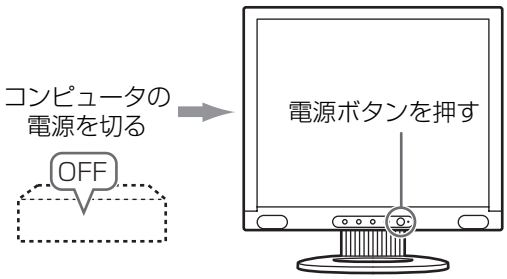
※ 電源切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。急に電源を入れると、故障や誤動作の原因になります。

？ Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整（11 ページ）を行ってください。
※ セットアップ情報・ICC プロファイル（Windows）や ColorSync プロファイル（MacOS）を接続先のコンピュータにインストールする場合は、ホームページからコンピュータに各ファイルをダウンロードしてください。
http://www.sharp.co.jp/lcd-display/
※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

電源の切りかた

1. コンピュータの電源を切る。
2. 本機の電源ボタン（ ⏻ ）を押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヘッドホン（市販）の接続

ステレオミニプラグ（φ 3.5mm）の付いたヘッドホン（市販）を接続することができます。
ヘッドホンが接続しにくいときは、ディスプレイの角度を上向きにしてください。

！ ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

？ Memo

※ ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。

画面・スピーカー音量の調整

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. **本機の電源を切る。**
2. **[AUTO] ボタンと [MENU] ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
   画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

画面調整メニュー（クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置）の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. **本機の電源を入れる。**
2. **[<] ボタンと [MENU] ボタンの両方を押す。**
   画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. **本機の電源を切る。**
2. **[MENU] ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
   画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
3. **[>] ボタンを押す。**

調整ロックの解除

1. **本機の電源を切る。**
2. **[MENU] ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。**
   画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。
3. **[>] ボタンを押す。**

バックライトの明るさ調整

1. **調整メニューが表示されていない状態で、[<] ボタンまたは [>] ボタンを押す。**
2. **[AUTO] ボタンで「明るさ」を選択する。**

3. **[<] ボタン（暗くする）、[>] ボタン（明るくする）を押して調整する。**
   調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

1. **調整メニューが表示されていない状態で、[<] ボタンまたは [>] ボタンを押す。**
2. **[AUTO] ボタンで「音量」を選択する。**

3. **[<] ボタン（小さくする）、[>] ボタン（大きくする）を押して調整する。**
   調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

画面の自動調整

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

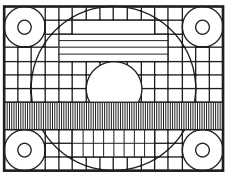
※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

■調整のための画面表示について

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。
Windows をお使いの場合、ホームページからコンピュータに調整用パターン（調整用ファイル ）をダウンロードしてご利用ください。
http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

調整用パターン（Windows 用）の表示

1. ダウンロードした「Adj_uty.exe」をダブルクリックする。
調整用パターンが表示されます。



2. 調整が終わったら、コンピュータの［Esc］キーを押して、調整用プログラムを終了する。

? Memo

※ 使用するコンピュータの表示が 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

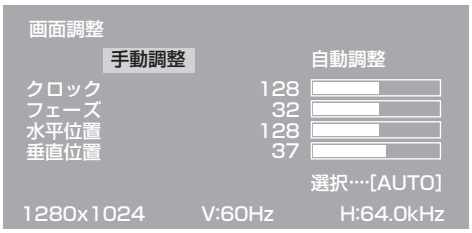
■自動調整のしかた

［AUTO］ボタンで行う方法

1. ［AUTO］ボタンを押す。
2. もう一度、［AUTO］ボタンを押す。
「自動調整中」と表示され、数秒後に「自動調整中」の表示が消えます。（これで自動調整は完了です。）

メニューから行う方法

1. ［MENU］ボタンを押す。



2. ［>］ボタンを押して、「自動調整」を選択する。
画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
（これで自動調整は完了です。）
3. ［MENU］ボタンを 5 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

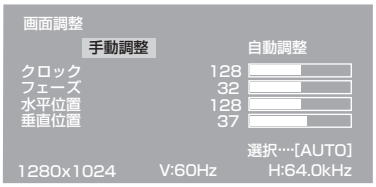
※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。（12 ページ）
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき（画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。）
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど（自動調整では正しく調整できないことがあります。）

※ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してください。
※ 動画やコマンドプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

1. **画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、画面全体が明るくなるような画像を表示する。**（11 ページ）
2. **[MENU] ボタンを押して、調整メニューを表示する。**

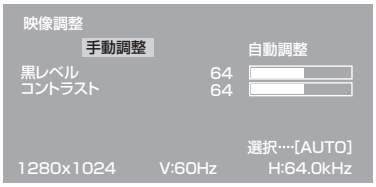
画面調整メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

↓ [MENU] ボタン

映像調整メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

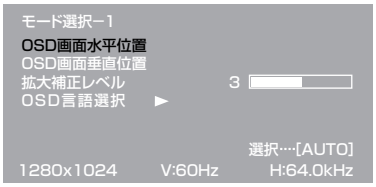
↓ [MENU] ボタン

カラー調整メニュー

[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

↓ [MENU] ボタン

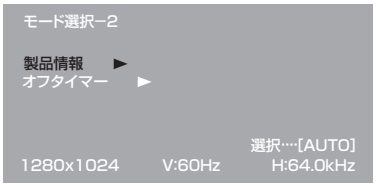
モード選択ー 1 メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

↓ [MENU] ボタン

モード選択ー 2 メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

↓ [MENU] ボタン

調整メニュー終了

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後、自動的に消えます。

※ 本書では、調整用パターン（Windows 用）を利用した調整のしかたを基本に説明します。

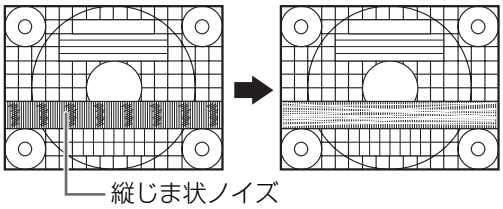
■画面調整メニュー

自動調整

[>] ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

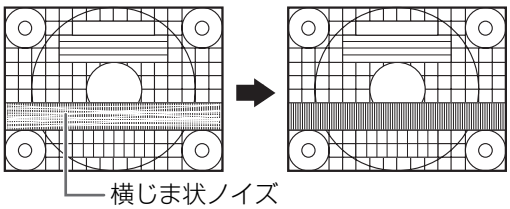
調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように [<] または [>] ボタンで調整します。



フェーズ（位相）

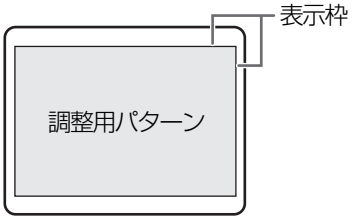
調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように [<] または [>] ボタンで調整します。

※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右（水平位置）、上下（垂直位置）の位置を [<] または [>] ボタンで調整します。



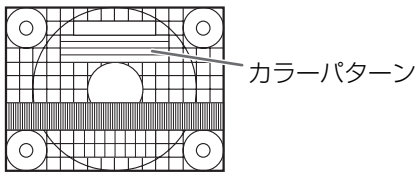
■映像調整メニュー

自動調整

［>］ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを［<］または［>］ボタンで調整します。



コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように［<］または［>］ボタンで調整します。

? Memo

自動調整（オートゲインコントロール機能）について

※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。

※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm × 5mm 以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。

※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は手動で調整してください。

※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■カラー調整メニュー

表示モード

①「表示モード」を選択して、［>］ボタンを押す。
表示モードメニューが表示されます。

②［<］または［>］ボタンで表示モードを選ぶ。

標準.....液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。

オフィス...輝度を下げて表示します。（消費電力が下がります。）

sRGB.....IEC（International Electrotechnical Commission）が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

あざやか...原色をダイナミックに表示します。

③［MENU］ボタンを押す。

? Memo

※「sRGB」または「あざやか」に設定すると、「色温度」は「標準」に、「ガンマ」は「0」になります。

色温度

①「色温度」を選択して、[>] ボタンを押す。
色温度メニューが表示されます。

②[<] または [>] ボタンで「寒色」「·」「標準」「·」「暖色」「ユーザー設定」を選ぶ。

寒色.....標準設定よりも青みがかった色合い

●.....標準設定よりもやや青みがかった色合い

標準.....標準設定

●.....標準設定よりもやや赤みがかった色合い

暖色.....標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

[AUTO] ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。

赤色コントラスト ..... [<] ボタンで青緑色、[>] ボタンで赤色

緑色コントラスト ..... [<] ボタンで紫色、[>] ボタンで緑色

青色コントラスト ..... [<] ボタンで黄色、[>] ボタンで青色

③ [MENU] ボタンを押す。

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。

ガンマ

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように、[<] または [>] ボタンで調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、ガンマの設定はできません。

■モード選択ー 1 メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を [<] または [>] ボタンで左右に動かします。

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を [<] または [>] ボタンで上下に動かします。

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを [<] または [>] ボタンで調整します。

※ 解像度が 1280 × 1024 ドット未満の画面を表示させた場合、画面全体に拡大表示されます。
（アスペクト比（縦横比）が変わることがあります。）

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

①「OSD 言語選択」を選択して、[>] ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。

② [AUTO] ボタンで言語を選択する。

③ [MENU] ボタンを押す。

■モード選択ー２メニュー

製品情報

本機の型名と製造番号を確認することができます。

①「製品情報」を選択して、［>］ボタンを押す。
　製品情報が表示されます。
②［MENU］ボタンを押す。
　製品情報の表示を終了します。

オフタイマー

一定時間で電源を自動的に切ることができます。

①「オフタイマー」を選択して、［>］ボタンを押す。
②「する」「しない」を［<］または［>］ボタンで設定する。
　「する」の場合は、［AUTO］ボタンを押し、［<］または［>］ボタンで電源が切れる時間を設定します。（1 ～ 23 時間の範囲で 1 時間単位）
③［MENU］ボタンを押す。

※「する」の場合、電源が切れる 5 分前から画面右上に残り時間が表示されます。（1 分単位で約 5 秒間）
※ 上記残り時間の表示から電源が切れるまでの操作について
- 時間を延長したいときは、電源ボタンを押します。電源ボタンを押すと、1 時間後に電源が切れるようになります。
　（次に電源を入れたとき、オフタイマーは上記手順②で設定した時間のままです。）
- 電源を切りたいときは、電源ボタンを 2 回押します。

※「する」に設定されていると、本機の電源を入れるとき、設定時間が画面に数秒間表示されます。（入力信号が無い場合は「入力信号がありません」と表示されます。）

製品情報の確認

本機の型名と製造番号を確認することができます。

1. 本機の電源を切る。
2. ［AUTO］ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
　製品情報が表示されます。
3. ［MENU］ボタンを押す。
　製品情報の表示を終了します。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

? Memo

※ 本機に使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルにご協力ください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

リサイクルについて

使用済み液晶モニターを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。

リサイクルに関する情報：
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/index.html

本機を個人（家庭）用としてご購入されたお客様には、お申し込みにより PC リサイクルマークを無償で提供させていただきます。

家庭系パソコンリサイクルについて：
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/home.html

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（8 ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピュータと正しく接続されていますか。
（8 ページ）
※ コンピュータの電源は入っていますか。
※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21 ページ）
※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。
キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（10 ページ）

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21 ページ）
※ 画面自動調整を行ってください。（11 ページ）
※ お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（21 ページ）

音が聞こえない

※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。
（8 ページ）
※ 音量調整を行ってください。（10 ページ）
※ ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーの音は鳴りません。
※ 本機が待機状態（電源ランプがオレンジ色）になっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から 3 年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

バックライト
※ ユニット単位の交換になります。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**「お持ち込み」**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内（19 ページ）

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談センター** へ
・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2006年4月現在)

修理相談センター

お客様サポートセンター修理相談窓口

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後8時　※日曜日・祝日：午前9時～午後6時 (年末年始を除く)

ナビダイヤル® **0570-01-4649**

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
(注)PHS・IP電話からは、下記一般電話番号におかけください。

PHS／IP電話の方は一般電話へ..... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎ 修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前9時～午後5時30分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所在地
北海道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7丁目3－17
	帯広	〒080-0011	帯広市西1条南26丁目19－1
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町1－9
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町8－13
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通4丁目左10
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町31－17
青森県	青森	〒030-0121	青森市妙見3－3－4
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田3－5－1
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野2－8－16
秋田県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反170－56
岩手県	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南3－1－1
	釜石	〒028-0522	遠野市新穀町3－3
宮城県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3－1－27
山形県	山形	〒990-0023	山形市松波2－6－5
福島県	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁33－1
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ケ丘37－10
新潟県	新潟	〒950-0993	新潟市上所中1－7－21
栃木県	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前4－2－41
群馬県	群馬	〒371-0855	前橋市問屋町1－3－7
茨城県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町1963
埼玉県	さいたま	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2－107－2
東京都	江東	〒130-0011	墨田区石原2－12－3
	城南	〒143-0025	大田区南馬込1－5－15
	東京	〒114-0013	北区東田端2－13－17
	多摩	〒191-0003	日野市日野台5－5－4
千葉県	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬1－9－2
	千葉	〒270-2231	松戸市稔台295－1
	東千葉	〒289-2132	匝瑳市高字東2779－4
	木更津	〒299-0115	市原市不入斗1555－1
神奈川県	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原1－2－23
	湘南	〒254-0013	平塚市田村4－14－36
	相模原	〒229-1122	相模原市横山2－2－12
山梨県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹2－1－17
静岡県	静岡	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂1170番1
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町11－4
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町1476－2
長野県	松本	〒399-0002	松本市芳野8－14
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢6877－1
愛知県	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王3－5－5
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町1－21
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口17－1
岐阜県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南3－12－9
三重県	三重	〒514-0131	津市あのつ台4－6－4
富山県	富山	〒930-0997	富山市新庄北町5－63
石川県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4－103
福井県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町625
滋賀県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町11－35
京都府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町6－13
大阪府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西1－2－9
	大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南3－7－19
	南大阪	〒597-0062	貝塚市沢1215
	北大阪	〒567-0831	茨木市鮎川5－15－3
兵庫県	阪神	〒661-0981	尼崎市猪名寺3－2－10
	姫路	〒671-2222	姫路市青山5－7－7
奈良県	奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町492
和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里2－4－91
	南紀	〒646-0051	田辺市稲成町80－2
鳥取県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
岡山県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾828
島根県	松江	〒690-0017	松江市西津田3－1－10
広島県	広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原2－13－4
	東広島	〒739-0142	東広島市八本松東4－3－30
	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷272－1
山口県	山口	〒754-0024	山口市小郡若草町4－12
	東山口	〒744-0011	下松市西豊井173－1
香川県	高松	〒760-0065	高松市朝日町6－2－8
徳島県	徳島	〒770-0813	徳島市中常三島町3－11－14
愛媛県	愛媛	〒791-8036	松山市高岡町178－1
高知県	高知	〒781-8104	高知市高須1－14－43
福岡県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田2－12－1
	南福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野3－12－47
	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町6－12
長崎県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町613－3
大分県	大分	〒870-0913	大分市松原町3－5－3
熊本県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷3－15－17
宮崎県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町4－12
鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町12－1
	奄美	〒894-0035	奄美市名瀬塩浜町8－1
沖縄県	那覇	〒900-0002	那覇市曙2－10－1
	先島	〒906-0013	宮古島市平良下里214－4

お客様相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前9時～午後6時　※日曜日・祝日：午前10時～午後5時 (年末年始を除く)

	※フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…			
0120-303-909	東日本相談室	電話 043-351-1822	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西日本相談室	電話 06-6792-1583	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

※FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

仕　様

■製品仕様

機種名
LL-174A-W（フロスティホワイト）
LL-174A-B（ブラック）

液晶パネル
17 型（対角 43.3cm）　TFT カラー液晶

最大解像度
SXGA 1280 × 1024

最大表示色
約 1619 万色（6 ビット +FRC）
※ FRC：Frame Rate Control

画素ピッチ
水平 0.264mm ×垂直 0.264mm

最大輝度
260cd/m^2
※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。

コントラスト比
650：1

視野角
左右 160°／上下 160°（コントラスト比 >5）

表示画面サイズ
横 337.9mm ×縦 270.3mm

有効画素の割合
99.9996%以上
※ 本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素数のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

映像入力信号
アナログ RGB（0.7Vp-p）［75 Ω］

同期入力信号
水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、
シンク・オン・グリーン、
コンポジット・シンク（TTL：正／負）

拡大補正
デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGA などを SXGA に補正して拡大表示）
※ 全画面への拡大表示のみ。1：1 での表示、アスペクト比（縦横比）固定での拡大表示はできません。

プラグ＆プレイ
VESA DDC2B 対応

パワーマネージメント
VESA DPMS 準拠

スピーカー出力
1W+1W

コンピュータ信号入力端子
ミニ D-sub15 ピン（3 列）

音声入力端子
φ 3.5mm ミニステレオジャック

ヘッドホン出力端子
φ 3.5mm ミニステレオジャック

画面角度調整
チルト：上向きに約 0°～ 20°
　　下向きに約 0°～ 5°

電源
AC100V　50/60Hz

使用温度条件
5℃～ 35℃

消費電力
30W（音声入力なし）、最大 33W、待機時 1W

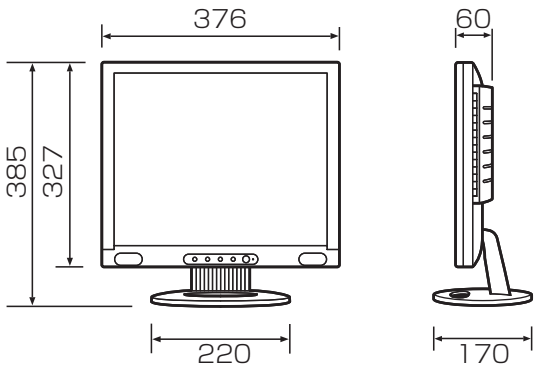
外形寸法
幅約 376mm ×奥行約 170mm ×高さ約 385mm

質量（ケーブル類含まず）
約 4.6kg
約 4.2kg（スタンドを外した場合）

梱包時寸法
幅約 453mm ×奥行約 172mm ×高さ約 480mm

梱包時質量
約 7kg

■外形寸法図（単位 mm）



付属ケーブルの長さ
電源コード　　：約 1.8m
アナログ信号ケーブル：約 1.8m
オーディオケーブル　：約 1.8m

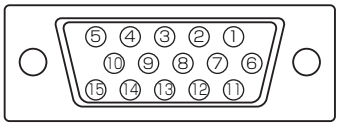
■対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz
Power Macintosh シリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz
	1152×870	68.7kHz	75Hz	100.0MHz
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz
Sun Ultra シリーズ	1024×768	48.3kHz	60Hz	64.13MHz
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz
	1152×900	61.8kHz	66Hz	94.88MHz
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz
	1280×1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz
		81.1kHz	76Hz	134.99MHz

※ 推奨解像度は、1280 × 1024 です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Power Macintosh、および Sun Ultra シリーズの各周波数は参考値です。
また、接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

（ミニD-sub15ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、Energy Starに準拠しています。パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	33W	あり	あり
STANDBY	無表示	1W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

Energy Star：

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■ DDC（プラグ&プレイ）

本機は、VESA の DDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDC とは、モニターとコンピュータのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

VESA 規格準拠アームの取り付けかた

VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
- VESA 規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴間隔が 100mm × 100mm のもの
- 通風孔をふさがないもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

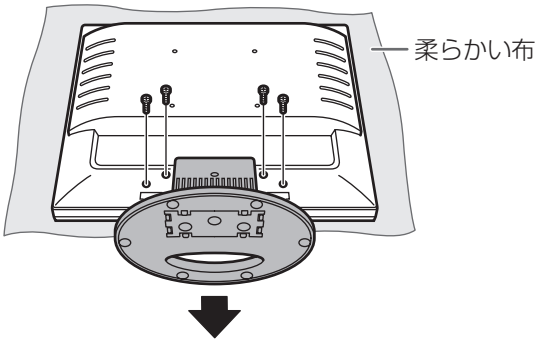
> ⚠ 注意 **指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。**
>
> ⚠ 注意 **通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。**

1. ケーブルを取り外す。

2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。

3. 本機を傷つけないように、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。

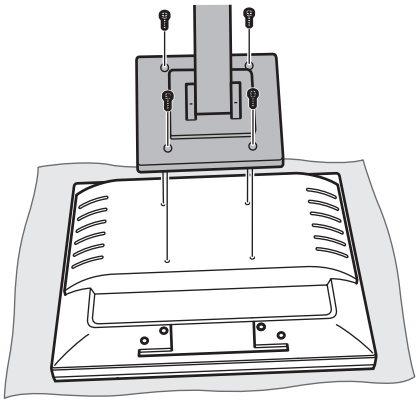
4. ネジ（4 本）を外して、スタンドを外す。



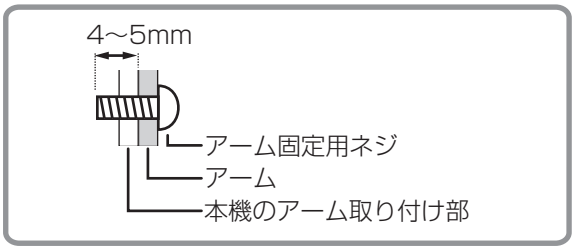
※ スタンド・台座は本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンド･台座とともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

5. アームをネジ（4 本）で固定する。



※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが 4 ～ 5mm の M4 を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因になります。



●製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター 0120-303-909	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は 東日本相談室　TEL 043-351-1822　FAX 043-299-8280 西日本相談室　TEL 06-6792-1583　FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　日曜・祝日：午前 10 時～午後５時（年末年始を除く）

●修理のご相談は‥ 19ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

（2006年4月現在）

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
0NY170184312A ①